

長 坂

希望の朝の陽が昇る

平戸市立生月中学校
学校だより 第14号
(令和2年11月)
文責 堀江 泰賢

【生徒信条】『今日よりは 幼心を打ち捨てて 人となりにし 道を踏めかし』

「第3波」への備えは大丈夫？ ～新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けて～

季節の移り変わりは早いもので、もうすぐ12月、生月の海や空も冬模様の日が多くなりました。一方、全国的には、新型コロナウイルス感染症の広がりも、「第3波」の様相です。現在、長崎県や平戸市では、大都市ほどの感染状況ではありませんが、油断はできないと思います。学校では、生徒に「今、何をすべきか、何をすべきではないのか、自分にできることは何なのか」を自分で考え、適切に行動してほしいと指導しています。具体的には、毎朝、登校前に自宅で検温するなど体調確認を行うこと、生徒玄関で手指の消毒をすること、学校内ではマスクを着用すること、移動教室や給食の際などには手洗い・手指の消毒をすること、できる限り三つの密を回避することなどです。また、万一、身近に感染者が出た場合には、決して差別や誹謗中傷をすることなく、相手の立場に立って、温かい眼差しを向けることも指導しています。

ご家庭でも、できる限りの感染防止対策を行っていただくようお願いいたします。特に、休日等、子どもと一緒に、または子ども達だけで、不特定多数の人が集まる場所へ外出する場合は、必ずマスクを着用することや、人の多い場所や密閉空間を避けるようご指導ください。

学校・家庭・地域、みんなで力を合わせて、「コロナ禍」を乗り越えましょう。



子ども達の健やかな成長をめざして ～さまざまな「教室」・「集会」・「講演会」が開催されました～



今月4日・5日の二日間、1年生を対象に、「水産教室」が開催されました。当日は、県北地区漁業士会、生月漁協、県北水産業指導普及センター、平戸市水産課の皆さんを講師にお迎えして、地元でとれた水産物を利用して、魚のさばき方や食材を生かした料理作りの体験学習が行われました。

子ども達は、技術だけでなく、地域の水産物の豊かさや、生き物の命をいただくことのありがたさなど、たくさんのことを学んでいたようです。

11月13日(金)、今年度の読書週間の取組の一環として、「読書集会(ビブリオバトル)」が開催されました。この取組は、読書の楽しさやすばらしさを知ることで、読書への興味や関心を高め、すすんで本を読もうとする意欲を育てることを目的としています。当日は、2年生が、班ごとに、お勧めの本について発表を行い、全校生徒がどの発表がよかったか投票しました。各班の発表を聞いていて、各班の代表者の発表力・表現力の豊かさに関心しました。



11月20日(金)、第2回学校保健委員会の取組として「講演会」が開催されました。当日は、平戸市役所の職員を講師にお迎えし、今年度の学校保健委員会のテーマ「心身ともに健康な生徒の育成～質の良い睡眠をとろう～」にあわせて、睡眠を中心とした基本的な生活習慣の大切さについて、お話ししていただきました。子ども達は、睡眠の大切さだけでなく、朝ご飯の役割や、スマホやゲームが心身に及ぼす悪影響などについて、真剣に学んでいました。

11月24日(火)、3年生を対象に、「薬物乱用防止教室」が開催されました。当日は、平戸市民病院の薬剤師の先生を講師にお迎えし、薬物だけでなく、タバコやアルコールが心身に及ぼす悪影響についても学習しました。

近年、ネット利用の拡大により薬物が簡単に手に入るようになり、使用者の低年齢化の傾向が見られます。薬物乱用の防止には、正しい知識と強い意志が大切です。生徒の皆さん、『ダメなものは、絶対にダメ!』



※これらの取組をとおして、子ども達が心身ともに健やかに成長してくれることを願っています。
また、ご協力いただいた皆様に心から感謝いたします。